

# 神奈川県作業療法士会ニュース

No. 145

## 神奈川県作業療法士会ニュース 145号 目次

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1 巻頭言               | 8 各部からのお知らせ   |
| 2 アクティビティ探検隊        | 11 理事会報告      |
| 3 ここへ行ってきた          | 12 講習会案内・求人広告 |
| 4 WFOTチリ学会報告 (第2回)  | 14 ひよこ通信      |
| 6 連載 OTのためのIT (第3回) |               |

## 巻頭言

## つながる時間・つながる距離

第13回 神奈川県作業療法学会 実行委員長  
渡邊 誠 (北里大学医療衛生学部)



大学の授業にて地域作業療法学を講義する都合上、社会学の本に触れる機会が多くなりました。その社会学の用語の1つに「限界集落」という言葉があります。それはその集落の過半数が高齢者となり、冠婚葬祭や生活道路の補修といった社会的共同生活の維持が困難となった状況を指す言葉です。さらには「限界自治体」という言葉もあるようです。マスコミでは「無縁社会」と呼ばれ、都市の中の孤独が再び取り上げられるようになりました。おそらく都市の中での限界集落が登場し始めたことの現れであるかもしれません。

神奈川県は大都市圏もあれば地方圏もあります。高所得者地域もあれば、低所得者地域もあります。地域（コミュニティ）という場をどのように誰と取り戻すことが求められているのでしょうか。その一助としてある作業をその地域の中でどのように展開することが求められているのでしょうか。

第13回神奈川県作業療法学会の意義は前回の県士会ニュース（No.144）にて浅井憲義学会長による紹介がありました。そこには作業療法士の質とともに作業療法の質の向上を図るための機会の提供が謳われていたと思います。作業療法士による組織体は県単位では例えば、神奈川県作業療法士会と呼ばれます。その中で本学会が開催されます。広い神奈川県の中で、多くの特性（事情）を抱えたコミュニティで、そしてコミュニティの中の病院・施設の中

で作業療法が実践されています。

「向こう三軒両隣」。江戸時代における互助制度を現す言葉として現在に残っているものです。普段、私たち一人一人が県内の作業療法を見渡すのは難しいことです。もちろん、インターネットという網状の情報交通の手段があります。しかし、実際にどのように手を伸ばせば目の前の人に思いが届くのか、相手の顔が見える距離というものをこの学会では考え、共有することを期待しております。私（の勤める病院・施設）の向こう側には誰がいて、私の両隣には誰がいるのでしょうか。作業療法士がコミュニティまたは専門家集団の中で孤独を迎えないように、無縁とならないようにするためにも、考えてみたいテーマです。

本学会開催まで、半年となります。学会運営はその日限りで完結しますが、その準備には約1年強かかります。参加して頂く県士会員が誰とそして何とつながっているかを実感できる時間となるよう学会スケジュールを組み上げたいと考えています。そして学会終了後、各作業療法士の臨床実践に少なからず影響を与える新たな縁（関係性）を築いて頂くことも本学会の意義だと考えます。

学会に向けての皆様のご意見を是非とも頂きたいと思います。学会を通じてつながる時間とつながる距離を見出せたらと思います。来年4月17日に学会会場である北里大学でお会いしましょう。

わしらは

# アクティビティー探検隊

今回お伺いしたのは「介護老人保健施設湘南シルバーガーデン」の作業療法士 伊藤沙織さんです。

さっそくりハビリ室に案内していただくと、部屋の窓が大きく室内がとても明るいことにびっくり。窓のすぐ向こうには畑があって、スイカ、トマト、キュウリ、シソ、ピーマンなどの野菜がたくさん実っています。「ガラス窓越しに畑の様子が見えるので、利用者さんから色々アドバイスをいただいたり、時には一緒に外に出て植えつけや世話をしています。」と伊藤さん。以下は記者との一問一答です。

## Q. 畑の作業を始めたきっかけは？

「元々、自分自身興味があったので始めてみたら、野菜がどんどん育つようになっていきました（笑）」

## Q. 野菜を育てていく中で嬉しかったことなどありますか？

「まず日常生活で変化を感じ取れることです。野菜が育っていく様子を眺めるだけで楽しめますし、季節感があり会話も自然と増えていきました。なにより利用者さんが、野菜が育っていくことを楽しみにしてくれています。」

## Q. 気をつけていることなどありますか？

「外に出ることが出来ない利用者さんとはガラス越しに野菜の様子を観察し、手入れの方法や収穫時期などのアドバイスをいただいて、皆で参加できるようにしています。」

## Q. 野菜を育てること、食べることは人間の共通の話題なんです。野菜だけじゃなくて窓のすぐ下に数種類の花も育てていて、よいアクセントになっていました。ところで収穫した野菜はどうされるのですか？

「主に職員で食べているのですが、納涼祭では新鮮野菜を使ったメニューを出して利用者さんやご家族に食べていただくと考えています。また、通所サービスでのレクリエーションとしてスイカ割りにも活用する予定です。」



大きいスイカは庭中ごろごろ



節成りで実ったトマト

Q. この施設では、園芸以外の活動も行われていました。筆者が特に気になったキリンさん。伊藤さんと一緒に写真に写っていただきましたが、こちらも伊藤さんが作られたのですか？

「はい、これも多くの利用者さんと一緒に制作しました。特に重心が前方に偏らない

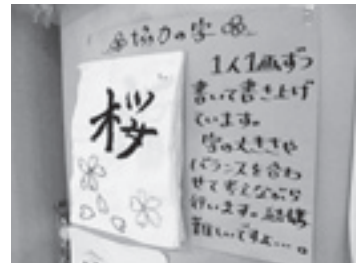
ようにするのが大変でした。牛乳パックに新聞紙を詰めた足や、首にはラップの芯のローンをいくつか合わせて作りました。ただ、作ってから時間が経過してしまったためいぶんうなだれてしまいましたが（笑）」

その他に気になったのが書道での「一人一画」です。こちらも利用者さん一人につき一画書いていき「文字」を完成させる、というもの。あまりにも上手な字で

どなたかが1文字を書いたと思うほどでした。季節を表す文字を皆で楽しみながら書いていくことができる素晴らしいアクティビティーでした。



リハ室からは花も眺められる



一人一画（協力の字）

作業療法士はともすると活動や作業を、治療や提案と称し患者さんに押し付けてしまいがちです。しかし伊藤さんは押し付けるのではなく、アドバイスを求めて一緒に楽しんだり、参加してもらいながら完成につなげていくなど工夫されており、作業療法士としての働きかけ方を学ぶことができました。また今回の取材では、何気ない日々にも季節感という彩りを加え、皆でそれを感じ取るような工夫がされていたことも印象的でした。患者さんを多方面からアプローチしていく伊藤さんの取り組みが参考になった方も多いのではないのでしょうか。

お忙しい中取材にご協力していただきありがとうございました。



伊藤さんと大作！キリンちゃん

連載「アクティビティー探検隊」には、面白い活動やアクティビティーを行っている施設を取材して欲しいとのリクエストをいただいています。日々の活動に悩む皆様のお役に立てることができるよう、今後も取材先を募集しています。ご連絡は最終ページに記載されている県士会事務局までお願いします。



## パン工房「ラポールセイカ」

秦野市南矢名3-2-1 (秦野精華園内)

(小田急小田原線東海大学前駅より徒歩10分)

電話：0463-77-8811 (代表)

URL：http://www.kyoudoukai.jp/hadano/info.html

open：10：00 close：17：00 (日・祝日 休業)

知的障がい者支援施設の秦野精華園が運営しているパン工房「ラポールセイカ」は今年の5月に開店1周年を迎えました。ラポールセイカは秦野精華園が就労継続支援A型として、安定した就労ステップへの第1歩を目指して始めました。今では地域の皆さんにも認知されつつあり、地域の一員として様々な活動をしています。今回はラポールセイカができたそのいきさつ、取り組みについて紹介していきます。



す。ラポールセイカのロゴマークは学生さんと会議を重ねて完成しました。「パンのふっくらとしたイメージの穂を形に」「手作りパンのおいしさが伝わるように」「今後の発展を印象づける元気な印象に」を基に作成したそうです。



「ラポール」という言葉は私達OTにとって馴染みのある言葉だと思います。まさに学生さんとの「信頼関係」が今も協業して活動している象徴的な言葉であると思います。

### 地域に根ざした活動をするために

さらに移動販売車を使用することで、販売の機会を増やしました。今では利用者さんと学生さんが一緒に近所の保育園や、東海大学の構内、地域の金融機関前や量販店の正面玄関にて定期的に販売しています。工学部の学生さんを中心としてオーブンにタイマーを導入し、大量生産にも対応することができました。また、タウン誌や新聞にも活動内容が掲載され、地域での活動認識が高まっているようです。

障がい者の就労支援を行う一方、独立採算を目指して収益、給料を賄うことは非常に大変なことだと思います。しかし、ラポールセイカでは東海大学の学生さんと協業することで一定の成果を出し、地域へ積極的にアピールすることで売り上げが少しずつ伸びています。

今回、取材を通して障がいを持った方が地域の方々と協業することでノーマライゼーションが確立していくものと感じました。OTとして業務に従事する上で、直接的に地域と関わることは多くないと思いますが、何かのきっかけで地域に目を向けること、そして少しでも動いてみるのがノーマライゼーションにつながるのではないかと思います。最後に私も手作りパンを買って帰りました。本当に美味しいですよ。

(文責：千葉)



### 美味しいパンを作っています

秦野精華園敷地内にあるパン工房では同園で雇用契約を結んだ8名がパン作りに取り組んでいました。オーブン等設備は本格的なもので衛生面も厳格に保たれています。勤務時間は月～金曜の9時～4時となっています。私が訪れた時はパンの成形作業をしていました。皆さん、慣れた手つきで手際よく作業をしていました。今では販売個数も増え、雇用体系を維持していますが、そのための取り組みが過去にあったのです。



### 東海大学の学生さんとの連携

話は2007年の7月にさかのぼります。秦野精華園から程近い東海大学へ1通のメールを出しました。大学生の専門知識を活かした商品開発、販売促進についての協働企画を提案したのです。それ以後、共同特別プロジェクトとして様々な取り組みが行われました。販路の拡大、モニタリング、ブランドイメージの確立など徐々に実を結んでいったそうで



## WFOT2010訪問記 その2—学会でのお楽しみ—

昭和大学保健医療学部作業療法学科 作田浩行

### イマイチなEspacio Riesco

学会場であるEspacio Riescoには初日のお昼過ぎに着きました。タクシーを降りてすぐ目に入ったのが、会場前の芝生に座り込んだり寝転んだりしている世界の作業療法士たち。さすが自由奔放だなぁ、国際学会だなぁ、などと思いつつ受付を終わらせ会場を一回りしてその理由がわかりました。とにかく会場が狭い。あっという間に一周です。あの寝転んでいた世界の作業療法士たちは休憩するにも場所もなかったわけです。前号に写真を掲載しましたが、ポスター会場もロビーの流用でありひたすら狭く、自分のポスターの場所などはただの通路と化してしまい、休み時間には作業療法士の往来があるのみ（涙）。



思い思いの方法で過ごす世界のOTRたち

今回の会場、狭いだけでなく立地もいただけません。車社会の象徴である妙に広い駐車場には車の姿はほとんどなく、サンティアゴは地下鉄が発展しているのに、なぜチリ最大級（推測）のコンベンションセンターであるこの会場まで延ばさなかったかな。ちょっと会場を抜けての見聞拡大活動等が、できないのです。勉強に来ているので、問題ないのでは？と言われてしまえばそれまでなのですが。

次のWFOT 16th Congressの会場はその点は全く心配いりませんね。難点は自宅から近いため国際学会っぽくないことでしょうか。



メインホールでこの広さ

### Shuriken : Ninja's weapon

さて、いきなりネガティブな話題を展開してしまいましたが、ここからはポジティブにいきます。国際学会の楽しみの一つに世界の作業療法士たちとの交流があります。

私はあまり意識していなかったのですが、同行者が交流のためにと強力な武器を！なんと、折り紙の手裏剣を携行していたのです。



地元の障害者支援団体の人たちに手裏剣を教える同行者。左から2番目がチリ人の作業療法士

しかも、この手裏剣、予想以上に大活躍でした。同行者がポスターに名刺とともに貼っていたところ、どんどんなくなるなくなる。ポスターを見てもらうための、とても良い誘い水となります。そのポスターに貼るためにせせと会場の休憩所で手裏剣を折っていたら、近くの作業療法士たちが興味津々。中には教えてくれと、即席折り紙教室へ。このあたりは作業療法士ですね。おかげで美人アルゼンティーナ作業療法士たちとも交流することができました。



アルゼンチンの作業療法士たち。手裏剣のおかげです

## Latin night fever: Welcome reception

日本のOT学会ではウェルカムレセプションに出たことはないのですが、国際学会では毎回出席しています。



賑わっている雰囲気が伝わるでしょうか？

なぜって？それは、その場にいただけで楽しいからです。ただ酒も飲めますしね。特に今回は南米ラテンのノリが素晴らしく、賑やかなレセプションがありました。英語が堪能であれば、もっと交流して楽しさをもっと広げることができるのですが、私のブアな英語ではそこまでは期待してはいけません。ただ、その場にいて、雰囲気を楽しめば良いのです。それだけで十分なんです。これまではそうでした。そう、今回はそうとも言い切れない出来事が。



有名なOTRを挟む無名なOTR

この中央の先生方、世界的に有名な先生方だと思われます。おそらく私たちが挟んで写真に写っているのは罰が当たるような事が起きているのだと思われます。帰国後、お名前を検索してみてもさらにびっくり。この写真をここで出しちゃっても良いのでしょうか？ええい、ままよ！

会場全体がほろ酔い気分になってきた頃に、我々の隣に移動してきた先生方。我々を見て日本人であることを認識したあと、声をかけてくださいました。「あなたたち、ひ〇みを知っている？」、「(有名ひ〇み先生は一人いますが) ラストネームは？」、すると、手帳からアドレス帳を取りだしペラペラと。そこには予想通りの名字が。そして他にも次期県学会の学会長など日本のそうそうたる面々のお名前が。これはやばい！我々は焦りました。我々の英語力ではこれ以上無理だと。まわりを見回しても頼みの先輩は何かを察したのかいなくなっています。ああ、早く逃げだしたい…

でも、そこはお酒の力。開き直り、コミュニケーションノート（メモ帳）を駆使してなんとかかんとか写真を撮っていただけるくらいのお話しをしたのでした。あ～恥ずかしい。あ～ちゃんと話せるようになりたい。

実は、国際学会に参加すると毎回そう思います。参加した直後には、次のWFOT Congressでは話せるようになって参加しようと。でも同時に「4年先だからまだいいか」とも。次の年には「まだ3年先さ」と。その次の年には「来年、演題登録だ、英語勉強しなきゃ」と。その次の年には「演題どうにかなったけどポスターはちゃんと作ろう！」と。そして開催年には「ああ、また貧相な英語でポスター作っちゃった(涙)」と。これを繰り返しているのです。ああ人間は何故楽な方へ行ってしまうのでしょうか。

今度こそ、次のWFOT 16th Congressではペラペラさ！

## 次 回 予 告

WFOT2010訪問記 その3では、サンティアゴ見聞録をお届けする予定です。



# OTのためのIT講座

## 第3回 PowerPointもGoogleで！？



講師  
石川 敢也さん



松本 こんにちは～！前はGoogleのウェブアルバムとか、自分で設定したキーワードでニュースを収集できるGoogle Newsのサービスなどを紹介してもらいましたよね。



石川 そうですね。松本さんも使ってみましたか？



松本 はい、もちろん！Google Newsのキーワードに「作業療法」と「神奈川県 リハビリ」、職場のある「新横浜」などを設定してみたんです。これは便利ですね…



石川 あっ！そういえば、この前、ラーメン博物館で偶然お会いしましたよね！



松本 そうそう、ラーメン博物館に新しい店舗がオープンして2日目でしたね。これもGoogle Newsに出てきたタウン誌の記事で知ったんです。まさに自分だけのクリッピングサービスですね。



石川 さっそく使いこなしてますね。では、今回もGoogleのサービスをご紹介しますことにしましょう。松本さん、「パワーポイント」は使ってますか？



松本 はい、もちろん使ってますよ。仕事でスライド用の資料を作るときはワードよりもパワーポイントですね。でもパワーポイントがインストールされていないパソコンも多くて困ることもあります。



石川 なるほど。ワードとエクセルはあっても、パワーポイントが無いってことは多いみたいですね。



松本 職場で用意されているパソコンはともかく、個人で持っているパソコンではパワーポイントは入っていないことも多いですね。自宅で資料作りの続きをやろうとすると困っちゃいます。まあ、私は家で仕事をする事なんて滅多にありませんけどね。



石川 そんなときには「Google Doc」を使ってみてください。マイクロソフトのエクセルやワードはもちろん、パワーポイントと互換性のあるプレゼンテーション作成用のアプリケーションもあるんですよ。インターネットに繋がっているパソコンがあれば、無料で、誰でも、どこでも使えます。面倒なインストールの作業も要りません。



松本 そんなサービスがあるんですか？Googleのホームページに載ってましたっけ？



石川 判りにくい所にありますね。Googleのホームページから「その他」→「ドキュメント」をクリックすればOKです。



松本 これも便利そうですね～。さっそく使ってみます！





## 今日のアドバイス

### \*Google Doc (グーグル・ドキュメント) を使ってみよう！

1. Google Docを使うには、<http://docs.google.com/>にアクセスします。「Google ドキュメント」というキーワードで検索してもすぐに見つかります。
2. Google Docには主に以下の3つの機能があります。
  - ①文書作成 マイクロソフトの「Word」に相当します。「～.doc」のファイル形式を扱います。
  - ②表計算 マイクロソフトの「Excel」に相当します。拡張子「～.csv」などのファイル形式を扱います。
  - ③プレゼンテーション マイクロソフトの「PowerPoint」に相当します。拡張子「～.ppt」などのファイル形式を扱います。
3. 自分のPCに保存するのではなく、Googleのアカウントでインターネット上に保存するので、どこでも、どのPCでも作業の続きができます。複数のメンバーでの共同作業にも向いています。



### \*自分のPCにPowerPointが入ってない！こんなときはGoogle Docの出番です

仕事で使う資料を開いたり、修正したりするときなど、マイクロソフトOfficeの「パワーポイント」が急に必要になる場合があります。パワーポイントは会議や発表などの資料を作成するのに広く使われているソフトです。

ところが、個人向けのPCでは、ワードやエクセルは標準的に用意されているものの、パワーポイントがあらかじめ用意されているPCは、店頭で少し割高になる場合もあり、あまり普及しているとはいえません。これでは、自宅で続きをやりようと思った場合などに困ってしまいます。

そんなときに、パワーポイントと互換性のある（完全に同じではありません）Google Docのプレゼンテーションの機能が役に立ちます。（写真はGoogle Docでプレゼンテーションのファイルを作成中の画面です）



### \*Google Docには弱点もあります

とても便利で、無料で使えるGoogle Docですが、残念ながら完璧ではありません。

1. 必ずインターネットに接続している環境が必要
2. メニューの表記が英語
3. マイクロソフトOfficeの機能と完全と同じとはいえない

このうち「メニューの表記が英語」というのは、ものすごくハードルが高そうですが、実際には「Open（開く）」とか「Create New（新規作成）」とか「Save（保存）」など、カタカナでも使っているような平易な単語がほとんどなので、あまり心配する必要はないと思います。

ワードやエクセルを使い慣れた人ほど、無料のWebサービスで仕事の文書を作ることに心理的な抵抗があるかもしれません。でも、インターネットでファイルがどこからでも取り出せる利便さは一度使うと手放せません。既にあるファイルの保管場所としても、この機会にGoogle Docを試してみたいかでしょうか？

## 質問を募集しています！ ??????????????????

「OTのためのIT講座」で取り上げてほしい質問を募集しています。

下記のURLから投稿してください。

●「OTのためのIT講座」質問箱 <http://post.afinax.com/>

記事の感想や要望などお気軽にお送り下されれば幸いです。



# 各部からの報告

## 教育部

### ○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

### 「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

#### 1. 現職者共通研修の「事例検討」と「事例報告」に関して（来年3月6日開催）

事例発表する人を「事例報告」、フロアで質問する人を「事例検討」を受講したこととして押印しています。詳細は11月号ニュース、ウェブサイトに掲載します。

##### ①「事例検討」に関して

お申し込み、参加いただくだけで準備は要りません。ただ質問をして下さい。

##### ②「事例報告」に関して

##### ・申し込み方法

年明けに事例発表の申し込み受付、その後事例発表の資料を提出頂きますので今から準備してください。資料はいわゆるケースレポートです。協会の事例報告登録のフォーマットを使っても、養成校での臨床実習の形式で構いません。プログラム紹介ではなく、ケースレポートです。

##### ・倫理的事項への注意に関して

今回は、発表への同意を文書で得なくても構いませんが、口頭では得てください。なお、資料は発表後全て回収します。

##### ・その他

職場の先輩等に相談しながら進めてください。

#### 2. 研修会情報

1. 現職者共通研修：11月3日（祝・水） ウイリング横浜（10月より受付開始；前号、ウェブサイト参照）

13：00～14：30 「職業倫理」

14：45～16：15 「エビデンスと作業療法実践」

2. 現職者選択研修（11月号ニュース、ウエ

ブサイト参照）

・老年期障害領域；2011年1月23日(日)

9：00～17：00 ウイリング横浜

・身体障害領域；2011年2月26日(土)

9：00～17：00 ウイリング横浜

問合せ先：教育部 奥原孝幸

（昭和大学保健医療学部）

045-985-6500(代)、

kyoiku@kana-ot.com

## ウェブサイト管理委員会

### ○「2014にはペラペラさ」

ハマ子：たいへん、私達がニュースに出るって！

よこ太：ん？昨日財布届けたけど、そのこと？

ハマ子：違う。

よこ太：あっスピード違反の方だ、ヤバッ ...

ハマ子：違う。「2014にはペラペラさ」よ。

よこ太：なんだっけ!?それ？

ハマ子：あんたがウェブ管から受けてきた仕事でしょ！もう始まっているんだよ、見てないの!?

よこ太：えへ、家のPC、つながってなくて。

ハマ子：まったく...それで県士会ニュースで宣伝するから、二人の名前を出して良いかって。

よこ太：お～おれにも陽があたるときが来たか。

ハマ子：2014年のWFOT Congress in Yokohama へ向けて、県士会サイトで英会話の勉強をやってます。上部中央の「エッセイ・シリーズ」にリンクがあるので、一緒に勉強しましょう！



## 平成22年7月アクセスランキング

- 1位 再学習・筋触診：記事 6555件
- 2位 講習会・研修会 4909件
- 3位 求人情報掲載板 3670件
- 4位 オリジナル自助具INDEX 1267件
- 5位 イベントカレンダー 1140件

## 平成22年7月県士会ブログランキング

- 1位 ウェブ管的知恵袋 254件
- 2位 大学院生兼主婦兼OTRの日記 231件
- 3位 ひよっこOT日記 227件

更新件数：57件 訪問者延べ数：9982人  
Kanaからの手紙発行回数：11回  
7月末のトップページカウンタ数：517126

(文責：ウェブサイト管理委員会 作田・大澤)  
県士会サイトURL：<http://kana-ot.com/>

## 地域リハビリテーション部

### ○日本作業療法士協会「作業療法推進活動パイロット事業助成制度」

#### 一般社団法人神奈川県作業療法士会主催

#### 第1回「ALS者のコミュニケーション支援講習会」開催される！

去る7月17日(土)国際医療福祉大学小田原校にて第1回「ALS者のコミュニケーション支援講習会」を開催しました。

当日は夏空の広がる絶好の天気にも恵まれ、総勢31名に参加いただきました。(内訳 会員14名、他職種14名、当事者1名、家族2名)当初想定していた参加人数は、希少疾患を対象としていることもあり10～15名程度を見込んでおりましたが、予想を上回る申し込みをいただき、ALSのコミュニケーション支援に対する関心が高いことが確認できました。

はじめの40分程度で、参加者全員に対して①

意思伝達装置についての説明、②操作スイッチの説明、③困った時の対応などを講義。その後、当事者・家族には意思伝達装置を様々な入力スイッチを使用して操作していただきました。

医療福祉専門職には、引き続き40分程度で意思伝達装置の導入の流れについて事例をもとに紹介、より具体的な支援のイメージを膨らませていただきました。その後、意思伝達装置のデモンストラクションをおこないました。

短い時間の中で、シンプルに解りやすくお伝えする努力をスタッフ一同心掛けておりました。参加者の皆様にも満足いただける内容になったかと思っています。

同様の講習会を第2回、第3回と予定しております。講習会後のアンケート結果は次回の県士会ニュースでご報告する予定です。

本事業は講習会を開催するだけでなく、ALSの方々へコミュニケーションの支援が有効に実施されることを目的としております。講習会参加者(希望者)にはメーリングリストにご登録いただき、支援方法などの質問に対してスタッフから回答させていただきます。

この県士会ニュースが会員の皆様に届く頃には計3回の講習会は終了しております。来年度以降も同様の講習会を開催していく予定でありますので、是非ともご参加いただければと思います。

(文責：地域リハビリテーション部 木村修介)

## 社会保障制度対策委員会

**Q 労災ってよく聞きますが、作業療法士にも関係ありますか。**

A あります。今回は労働者として作業療法士が働く場合について説明します。労災とは、労働者災

害補償保険のことで、労働者が業務中に災害にあったり、通勤途上で災害にあった場合に保険給付するものです。作業療法士にももちろん当てはまります。また、労災の「災」は、災害の「災」のことですが、必ずしもケガや障害に対してだけ保険給付するものではありません。「疾病労災」といって、業務が原因で病気が発症した場合（例：うつ病、腰痛）や労働者がもともと持っていた病が、労働の継続によって、自然的な経過を超えて悪化した場合などにも、労災から保険が支払われます。また、通勤途中によるケガに対しても適用されます。医療保険と違って労災は全額保険でまかなわれ、個人負担はありません。

労災の申請手続きは、業務中にケガをした場合、まずは上司と勤め先の労災担当者に報告しましょう。担当者が労災の申請手続きを行い、労災指定病院へ行って受診をします。

全職場が労災に加入しているので、仕事上の怪我かなと思ったら、まず上司や事務と相談して労災の適用を考えてみましょう。

## 広報部対外広報班

7月30日・31日にヨコハマヒューマンテクノロジーランド（通称YOTEC）が開催されました。YOTECの参加者は1万4千人と今年も盛況で、県士会もブース出展致しました。

今年のOTブースでは「革細工の体験コーナー」をメイン企画にし、活動を交えながら説明をしました。例年様々な企画を実施してきましたが、「こうやって楽しく活動ができると意欲もでますね」や、「YOTEC にきて一番楽しかった！」など、参加者の声や賑わいも大きく、今年は特にイメージのつきやすい企画になりました。今年は介護者や学生その他、普通学級の教師からも相談を頂くなど、幅広い県民への広報となりました。活動結果としては、革細工（しおり）80セットを無料配布、パンフレットは約200部を配布しました。

対外広報班ではこのようにまだ作業療法を知らない・関わったことのない方にも啓発をしています。今後も新しい企画も計画中です。アドバイス・ご意見も頂けると嬉しいです。どうぞ宜しくお願いいたします。



## 事務局よりお知らせ

### ○登録内容の変更手続きの方法が変わりました

従来、届け出は(社)日本作業療法士協会へ手続きを行えば、神奈川県士会への手続きは不要でしたが、誤配送や遅配防止のため、今後、神奈川県士会への登録内容の変更（神奈川県内での異動、改姓、自宅住所の変更など）がある場合は(社)日本作業療法士協会への連絡だけでなく、神奈川県士会へも登録内容の変更届をご提出いただくこととなりました。以下の方法で行ってください。ご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 神奈川県作業療法士会HPより登録内容の変更届をダウンロードする
2. ダウンロードしたファイルを印刷する
3. 必要事項を記入し、下記の宛先に郵送、またはFAXで送信する
4. 変更内容を(社)日本作業療法士協会へも適宜の方法で連絡する

## 理事会 報告

### 平成22年度 第2回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成22年7月15日（木曜日）19：00～21：00 場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、佐藤、錠内、浅井、奥原、木村、作田、鈴木、机、富山、中西、山路、澤口

委任理事：机、野々垣、原 出席監事：清宮 委任監事：長谷川 書記（事務局員）：竹田、中尾、半田

#### ●事務局（澤口事務局長）

##### 1) 渉外活動

- ・神奈川県リハビリテーション協議会連携推進針検討部会（県保健福祉局保健医療部）、6/10〔17時～19時：県総合医療会館〕、出席：渡邊会長
- ・神奈川県病院協会第76回定時総会後の懇親会、6/16〔17時30分より：ホテルキャメロットジャパン〕、出席：渡邊会長
- ・神奈川県医療専門職連合会定例会、6/4〔19時～放射線技師会〕、出席：佐藤副会長
- ・神奈川県医療専門職連合会総会、6/18〔18時30分～県民サポートセンター〕、出席：鈴木理事・山路理事、各団体からの活動報告：診療報酬改定の影響について；山路理事

##### 2) 各団体からの後援依頼等→三役会にて承認済み含む

- ・ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド～福祉を支える人とテクノロジーの総合展～  
7/30、31〔パシフィコ横浜〕、広報部も県士会ブースを出展
- ・第46回全国研修会in神奈川（NPO法人POTA）  
9/4、5〔ウィリング横浜〕、基調講演・分科会・特別講演など
- ・精神障がい者スポーツ大会（ソフトバレーボール）実行委員の派遣要請

- 6/9〔第1回実行委員会15時～17時：県民サポートセンター〕→大会日時の決定：9/17〔9時～17時：大和スポーツセンター〕、8/18〔第2回実行委員会※大会当日の役割決め〕→全ての日程を西前氏（藤沢病院デイケアセンター）に依頼

- ・第4回かながわお口の健康フォーラム（小田原歯科医師会）  
12/2〔13時～18時30分：小田原市民会館大ホール〕
- ・県病院学会（県病院協会）

##### 3) その他

- ・神奈川県リハビリテーション協議会より各団体の地域リハにおける取り組み状況調査依頼→地域リハ部、福祉用具委員会ほか医療専門職連合会の取り組みなどを網羅し提出予定。
- ・正会員1名より個人の研究（修士論文）実施にあたり当会の会員情報（氏名、所属名、所属先住所）の公開要請あり。目的はアンケート調査用紙の送付。研究計画書、情報の使用目的と管理方法、破棄の方法、会員向けの依頼文等確認→承認

#### ●財務部（澤口代読）

- 1) 平成22年度法人税の納付について：追加報告
- ・これまでの経緯：5/20 会計士より法人税など532,000円が計上され、同日の平成22年度第1回理事会にて補正予算の承認を行った（当初の予算は70,000円）。
- ・翌日、事務局より他県士会に改めて額面の問い合わせを行ったところ「収益団体ではないため、70,000円の納税をしている」とのこと→会計士に連絡。
- ・5/31納入期限。会計士の指示により70,000円のみ振込みし、収益事業取り止め届け書を提出。6/24受理。

⇒補正予算の必要がなくなったが、そのまま留意、精査する。

#### ●福利部（富山理事）

- 1) 「第1回職場見学会」5/21(金)19時～20時  
場所：日本鋼管病院 講師：錠内広之先 参加：18名  
→1人職場の参加者多数。開催のニーズあり。業務時間内に行ったほうが良いという意見もあった。
- 2) 新入会員オリエンテーション&歓迎会  
日時：9/11(土)＜現職者研修終了後 約1時間程度＞  
内容：新入会員のための役員・県士会紹介・交流会等  
場所：横浜リハビリテーション専門学校 ※会終了後に懇親会予定  
※当日県士会紹介パンフを配布する。各部紹介など。
- 3) 新入部員の承認→承認

- ・秋本拓哉（日本鋼管病院）

#### ●社会保障制度対策委員会（山路理事）

- ・6/18医療専門職連合会総会出席。その後のパネルディスカッションで作業療法における「平成22年度診療報酬改定の概

要と取り組み」を報告 ・e-learning：7月中旬に1回アップ予定

#### ●地域リハビリテーション部（木村理事）

- 1) 「ALS者のコミュニケーション支援講習会」(OT協会H22パイロット事業受託)

- ・共催：日本ALS協会神奈川県支部
- ・対象：医療・福祉関係者・当事者・ご家族
- ・内容：支援方法の紹介、コミュニケーション機器及びスイッチ体験
- ・日時：①7/17(土)国際医療福祉大学小田原校
- ・参加者：医療福祉関係者20名、当事者・家族5名
- ・今後の日程 ②8/21(土)あーすぷらざ横浜（本郷台）、③9/4(土)あじさい会館（相模原）

※今後の予定：講習会終了後6ヶ月後に参加者へ電話アンケート。本講習会の成果を検証する。また同時にMLにて参加者の講習会後のフォローも行っていく。⇒成果を学会等で発表する。

- 2) 地域リハ研修班：第6回地域リハビリテーション勉強会「学校教育の障害児の地域支援」（仮）日時：10月後半にて調整中。

#### ●学会評議員会（原理事）

- ・「新しい学会（試行）」（継続検討中）

⇒現在の県学会と新しい学会の隔年開催、運営方法の簡略化、準備期間の短縮化。

- 日時：平成24年4月？日（総会と同日開催） 場所：？
- 内容：講演1～2、県士会認定SIG、研究助成事業発表など
- タイムスケジュール H22：新しい学会（提案）、H23：第13回県学会 H24：新しい学会（試行）

#### ●教育部（奥原理事）

- 1) 現職者共通/選択研修日程と内容について（Web参照）。
- 2) 他県士会員が当県士会研修会等参加の場合のポイントシールに関して：昨年度、他県士会所属者の研修会への参加にはポイントシールを配布しないで領収書のみで対応してほしい旨、協会生涯教育部生涯教育制度推進委員会よりあったが、シール配布するかしないかは士会判断であるとの結論で調整がいった。他県士会所属者にもこれまで通りシールを配布する。

#### ●広報部（松本代読）

- ・県士会ロゴマークを近日Webを用いて公募する。グッズ等に活用。
- ・対外広報班：①「YOTEC」7/30・31（パシフィコ横浜）「作業療法の紹介」、②地域リハ部パイロット事業への協力、「学生啓発活動（高校や受験予備校にOT紹介パンフの配布）OT体験デイ的なイベントを来年3月頃実施予定。関連職種への啓発として他学会へブース出展できるか検討。
- ・協会との連携：9/23作業療法フォーラム（横浜）に協力する。
- ・OTの日推進班：OT体験デーを1月か2月に行う予定。

#### ●学術部（中西理事）

- 1) 生涯教育講座【職場管理者養成講座】「臨床でのリスク管理について」10/2（詳細はWeb参照）
- 2) 分野別講習会【身体】①「脊髄損傷者へのADL支援～急性期・回復期の作業療法への提言」10/16、②「脳卒中の急性期作業療法～基礎から応用Part 2」10/30（どちらも詳細はWeb参照）
- 4) 学術誌：編集委員長「東登志夫：県立保健福祉大学」、雑誌名「神奈川作業療法研究」、発刊記念号発刊予定「2011年1月」、発刊記念号内容「依頼原稿を中心に編集する予定」※前回理事会で査読委員として承認した藤田純司氏（神奈川病院）はご本人都合により辞退。
- 5) 第29回神奈川県病院学会第1回学術委員会（6/2）出席（中西）

- ・開催日時：11/11(木)13時～（神奈川県総合医療会館）

※今後、神奈川県精神保健福祉士協会が協力団体として加わる。  
※紙面の都合で割愛、議事録の詳細は県士会Webをご覧ください。





求人

## 作業療法士募集

精神科作業療法を主としつつ、さらに運動機能等へのアプローチも含めた、より総合的な作業療法の展開を考えています。

募集人数 常勤 1名

募集内容 精神科作業療法の実践に興味のある方。  
成人や高齢者に対する身体機能回復訓練等に実務経験がある方が望ましい。

施設概要 病床151床、精神科、内科、精神科作業療法、デイケア、訪問看護

給 与 当院規定による

勤務時間 8:45～16:45 (週休2日制)

研 修 院内、院外研修有

応募方法 電話連絡の上、履歴書を持参、または下記宛に郵送してください。

問い合わせ先 医療法人社団秦和会 秦野病院

〒259-1303 神奈川県秦野市三屋131番地

TEL 0463 (75) 0032(代) FAX 0463 (75) 0034

URL <http://www.hatanohp.or.jp/>

Eメール [hatanot-ot@abox.so-net.ne.jp](mailto:hatanot-ot@abox.so-net.ne.jp)

事務長 瀬戸、作業療法室 中野 まで



研修会

## 昭和作業療法卒後教育セミナーのご案内

今回は、野々垣先生(クラブハウスすてっぶなな所長)をお迎えし、「高次脳機能障害を見つめる視点」と、最近注目される「作業療法士の起業」についてご講義頂きます。

開催日時:平成22年11月28日(日) 12:30～受付開始

PM13:00～16:00を予定(その後、総会)

場所:昭和大学保健医療学部(長津田キャンパス)

地図・交通アクセス

<http://www.nr.showa-u.ac.jp/access.htm>

テーマ:1. 高次脳機能障害を見つめる視点

2. 作業療法士の起業

講師:野々垣睦美先生(NPO法人脳外傷友の会ナナ

クラブハウスすてっぶなな所長、作業療法士)

参加費:会員1000円、非会員1500円

\*OT協会生涯教育制度:OT協会生涯教育制度・基礎コース

1ポイントの付与対象です。

申し込み締切:平成22年11月22日

申し込み方法:以下の内容をメールに記入し、件名「セミナー参加希望」としotd@nr.showa-u.ac.jpに送信して下さい(携帯メール可)。

1. 参加者氏名 2. 所属 3. 返信先アドレス・電話番号

問い合わせ先:昭和作業療法卒後教育セミナー事務局

横浜市緑区十日市場町1865 昭和大学保健医療学部作業療法

学科内<E-mail:otd@nr.showa-u.ac.jp>

入会案内について:

<<http://www.nr.showa-u.ac.jp/ot/semi/index.html>>



研修会

## 第3回メディリハ大勉強会 大会テーマ『Focus 上肢!』。

2日間集中的に『機能解剖に基づく手・前腕・肘・肩関節』上肢への評価・アプローチを学びます。

【日程】平成22年10月10日～11日

【会場】臨床福祉専門学校

(東京メトロ東西線 東陽町より徒歩10分)

【参加費】13,000円(非会員) 11,000円(会員)

【プログラム】

1. 各講師による『機能解剖に基づく手・前腕・肘・肩関節』の評価と治療

2. 発表申込者による口述・ポスター発表

【講師】

壇 順司先生(九州中央リハビリテーション学院)

鶴飼 建志先生(中部学院大学)

矢崎 潔先生(目白大学)

【参加の申込方法】ホームページより事前に申し込みを行ってください。当日の参加申込はお受けできません。

【発表の申込方法】投稿規定・選定方法に関しては、ホームページの案内をご参照してください。

【ホームページURL】

<http://www.medical-rehabilitation.com>



研修会

## 第11回北里大学作業療法学会 学術集会開催&演題募集のお知らせ

開催日:平成22年11月27日(土) 13:30～16:30

(13:00～受付開始) 予定

場所:北里大学医療衛生学部 A 3号館33教室

テーマ:作業療法のオリジナリティ

～OTだからできること～

プログラム

13:30～総会

14:00～記念講演

15:00～演題発表

16:15～閉会式

演題募集:<申込方法>必要書類を期限までに下記連絡先

までご提出ください。

※北里大学作業療法学会員以外の方も発表可能です。

※発表形式:口述発表8分以内(質疑応答5分)

(1) 申込書および演題要旨提出期限

平成22年9月25日(土)まで

(2) 演題抄録提出期限

平成22年11月6日(土)まで

※演題申込書及び原稿の提出先

北里大学作業療法学会学術集会実行委員長 前場洋佑

メールアドレス:yozen@kitasato-u.ac.jp

参加費:無料(演題発表者) 1500円(北里OT学会会員)

2000円(非会員)

ポイント:OT協会生涯教育制度・基礎コース1ポイント

ホームページ:<http://www.geocities.jp/kitasatoota/>

お問い合わせ:事務局:担当 長谷川

メールアドレス:clownfish@basil.ocn.ne.jp

## 求人

## 作業療法士募集

募集人数 常勤 1名  
 募集内容 有料老人ホームでの機能訓練  
 自立支援及び機能向上  
 県内の施設を巡回しての業務  
 施設概要 有料老人ホーム  
 自立型及び介護型  
 給与 当財団規定により優遇  
 勤務時間 8:30～17:15  
 休日休暇 4週8休（1週38.75時間）  
 年間休日123日（平成22年度）  
 応募方法 電話連絡の上履歴書（写真添付）  
 免許書写しを下記宛に郵送

## 財団法人シニアライフ振興財団

〒231-0021 横浜市中区日本大通33番地  
 神奈川県住宅供給公社ビル9階  
 電話（代表） 045（664）4771  
 FAX 045（664）4777  
 E-Mail slf-soumu@seniorlife.or.jp  
 URL <http://www.seniorlife.or.jp/>

## 求人

## 作業療法士 募集

募集人員：臨時職員1名  
 就労期間：採用日～平成23年3月31日  
 応募資格：作業療法士免許を有する方  
 待遇：給与・手当 当院規定による  
 勤務時間：月～金 8:30～17:15  
 休日：土・日・祝日は休み（第3土曜日出勤）  
 応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）・  
 免許証の写しを持参又は下記宛に郵送  
 交通：小田急線愛甲石田駅より七沢病院行き  
 バスを利用。（所要時間25分）

問い合わせ先 七沢リハビリテーション病院  
脳血管センター

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢1304  
 TEL 046-249-2806（総務局総務課）  
 FAX 046-249-2903  
 総務局総務課 藤川・白井まで  
 Eメール：nanasomu@kanagawa-rehab.or.jp  
 URL：<http://www.kanagawa-rehab.or.jp>

## 求人

お客様の在宅生活を一緒にサポートしていただだけませんか？  
在宅で働きたい作業療法士さん募集！

在宅介護を中心に28年の実績があるセントケア。介護会社ならではの、介護と医療の連携で  
 お客様の在宅生活をサポートしています。在宅に興味のあるOTさんPTさん募集中です！！

事業内容 訪問看護 訪問介護 訪問入浴 デイサービス グループホーム 福祉用具貸与  
 居宅介護支援 住宅リフォーム ケータリング 福祉用具販売 認知症デイサービス 等  
 在宅介護を中心に神奈川県内に53か所の事業所を展開しています。  
 募集人員 正社員 契約社員（非常勤） ※各ステーションで随時募集をしています。  
 待遇 正社員 280,000円（OT・PT） 賞与年2回・退職金制度あり  
 契約社員（非常勤） 2,910円～（1訪問1時間当たり）  
 福利厚生 社会保険完備 交通費全額支給 正社員登用制度 各種研修制度 制服貸与 財形貯蓄  
 有給休暇 介護休暇 育児短時間労働制度 社員持株会制度 慶弔見舞金 健康相談 等  
 勤務時間 9:00～18:00（非常勤は応相談）  
 休日 月7日～9日（基本土日休み）、有給休暇、特別休暇等 ※非常勤の方はご希望に応じます。  
 勤務地 訪問看護ステーション大和  
 大和市つきみ野2-7-18（東急田園都市線 つきみ野駅 徒歩12分）  
 訪問看護ステーション川崎宮前  
 川崎市宮前区馬絹1451（東急田園都市線 宮崎台駅 徒歩11分）  
 訪問看護ステーション横浜  
 横浜市内南区永田東1-1-7（京浜急行線 井土ヶ谷駅 徒歩3分）  
 応募方法 下記ホームページ、メール、電話からお問い合わせください。  
 お仕事相談会、会社説明会も随時行っておりますのでお気軽にご連絡ください。

## セントケア神奈川株式会社

本社：〒231-0011 横浜市中区太田町4-55 横浜馬車道ビル7階 採用担当：碓井・神田  
 電話：045-227-8871 FAX045-227-8873 HP <http://www.saintc-k.com> メール [saiyo-k@saint-care.com](mailto:saiyo-k@saint-care.com)



## 初めての経験

梅雨が明ける頃、長女の楽しみにしていた保育園の夏祭りがありました。昨年は「ママ～あそこへ行ってみようよ」と私の手を引っ張って模擬店のある所へ行っていた長女。今年は「ちょっと行ってくるね」と友達と手を繋いで人ごみの中へと行ってしまいうことも多く、捜すのに一苦労でした（笑）。お気に入り浴衣を着て友達と踊ったり、とそんな姿を見て親も十分に楽しんだ夏祭りでした。

夏祭りが終わると、以前から予定されていた長女の両側口蓋扁桃の摘出手術日が迫っていました。24時間親の付き添いが必要なため、夜は主人で日中は私と決めました。当の本人は「あと何回寝たら入院なの」？と遠足気分で入院当日を迎えました。手術当日は、主治医から「麻酔がかかるまでお母さんは手術室にいきましょう（まだ小さい為、暴れてしまう可能性もあるとのこと）」と言われました。しかし長女は手術台の上でも全く動じることなく、先生の言う通りに待っていた姿に私もびっくりしました。マスクをして麻酔がかかると、自然と目を閉じてしまう長女を見ていたら、痛々しくてとても切

なかったです。でも手術も無事に終わりホットしていたのもつかの間、その夜は「ママじゃなきゃ嫌だ～」と出ない声を振り絞って泣き続け、主人と付き添いを一晩交代したりと思いがけないことも多々ありました。

少し座っていらっしゃるようになると、看護師の方から「つばめの巣があるけど見に行ってみようか」、「保育園では？…」など声をかけてくださっていました。入院から6日目となれば、長女の体調も良くなり本領を発揮！！看護師の方が部屋に来ると「あのね」と話しかけたり、「ママ暇だからお散歩しようよ」と同じ場所を行き来し、私の方がヘトヘトでした（笑）。OTという仕事をすると、患者さん・そのご家族と接する機会が多くなります。今回は逆の立場というか、通常ではあまり経験しない環境下で生活をしました。いろいろな方から内容を練って声をかけてもらえると、正直親子共々うれしいものです。『仕事上の役割』ではあるかもしれませんが、相手の優しさは感じとれるものです。また職員と患者さんは時間の流れ（質）が少し違うことも感じました。長女が退院して自宅療養を経てから私も仕事再開です。目には見えない相手の気持ち、を感じとっていくことができればと思います。

（文責：海出）



一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** < 145号 > 2010年9月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 野本義則

編集担当 松本政悦・大宮幸恵・菊地美帆・千葉友浩・馬場順子・杉本美穂・矢野竜也・堤由貴子

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号 TEL/FAX: 045-663-5997  
月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.com

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.com/>

作業療法 神奈川

検索